MM通信 第７回

町にはこんな生活がある！！

これかモンスターハンターの戦いの拠点だ！

「メタルマックス」はミヤ王、キム皇、カルロスの3人が開発しているニュータイプのRPGだ。主人公は、モンスターハンター。戦車を操縦して、指名手配のモンスターをガンガンしとめる超ド派手な賞金稼ぎだ。しかも戦車に乗って戦うだけじゃなく、戦車から降りても行動・戦闘ができる画期的なMM（Man & Machine）方式を採用！活動の幅も楽しみ方も2倍に広がるゾッ！お金がたまったら、戦車を改造しちゃうというお楽しみまである。こんなゲームがなぜ今までなかったの、と作ってる3人が嬉し泣きするくらいの出来になってきたようだ。今回は3人に町の中の仕組みを語ってもらおう。「メタルマックス」、いよいよ面白くなってきたぞっ。

未来人は強く、逞しく、したたかに町の生活を楽しむ。

文明を食い尽くしながら、 町は生き延びている。

司：まずどんな町があるんですか？

キ：うーん、一言じゃいいきれないけど、どの町にもそれなりの歴史はあるよね。

カ：過去の遺産を食いつぶして生きてる都市もあれば、水があるところに自然に人が集まって、町になったというところだってある。

司：町の中は、どんな感じでしょうか？

キ：廃虚みたいなところもあるけれど、エレベーターやエスカレーターも、多い。

司：けっこう都会なんですね。

カ：そうだね。未来では機械は生活の一部だから、他のRPGよりはメカを使うケースが多くなるだろうね。

ミ：たとえば、あちこちにスイッチやボタンがあって、いろんな仕掛けを楽しめるとかね。

キ：プレーヤーの印象としては、メカに囲まれて遊んでいる感じがすると思うよ。

カ：人もいるけど、メカもどっさり。

ミ：あとは、トレーダーっていう旅商人が町を渡り歩いて、貿易みたいなこともやってる。

キ：この人たちはテント生活者だから、村ごと移動しながら商売してるんだ。

司：なにか珍しいものでも売ってんのかな？

住民だって、ハンターを相手に 元気に商売してるぞ。

司：モンスターハンターは住民に危害を加える怪物をやっつけてるわけでしょう。ハンターは住民に感謝されてるんですか？

カ：ちいーっとも感謝されてない。（笑）

ミ：ハンターが高いものを買ってくれるときはゴマくらいはするかもね。（笑）

キ：モンスターハンターは、町のためというより賞金のため、自分の利益のために戦っているからね。

ミ：オレがハンターなら、指名手配のモンスターを重点的に狙うぜっ。金になるしなっ。

カ：まあ、プレーヤーは正義の味方になってもいいし、札付きの賞金稼ぎになってもいいよね。

キ：そこんとこはプレーヤーの自由だよね。

司：あんまり一つの価値観でプレーヤーを縛りたくないんですね。

キ：そうなんだよ。だって、「ウルティマ!」は敵でもない町の人と戦えちゃったしね。

ミ：「クエスト」にしても衛兵を倒してるうちに、そっちのほうが楽しくなったぜっ。（笑）

キ：ストーリーを外れて、そんなことばっかりして遊んでたんだよね。

司：でもそれってインモラルすぎません？

ミ：そうかなあ。インモラルな展開をやめてから、ゲームがつまらなくなってきたんじゃないかな。

キ：現実の世界ではできないことも、ゲームだからできる。そこがゲームのおもしろさだよね。

司：おおっと、いきなりキツーイ発言。

ひと稼ぎしたら、改造ショップへ。 オリジナルのマシンを作ろう！

キ：お店の特長としては、まず、戦車まわり用と人まわり用とに店を分けてあります。

カ：それぞれに店があって、武器やパーツを買ったり、修理、改造もできるようになってます。

キ：戦車まわりのサービスを一手に引き受ける「戦車ショップ」や、車両のチューンナップを得意とする「改造ショップ」もあるよ。

司：へぇ、改造の店!？。

ミ：このふたつのショップには、いろいろとお世話になるだろうぜっ。手に入れた車両は必ず改造したくなるからね。

司：改造ってどんな風にやるの？

カ：改造の基本は、エンジンのパワーアップ。武器や装甲を付けるためには、まずその車両の積載量を増やさなきゃいけないからね。

キ：だから積載量が増えれば増えるほど、攻撃力や防御力をアップできるってわけ。

ミ：しかも改造できるのは戦車だけじゃない。

司：エッ、ホント/戦車以外にどんな車両があるんですか？

ミ：バギー、救急車、装甲車などだね。ほとんどの車両が改造できちゃう。

司：どんな武器を付けるんですか？

キ：たとえば、救急車に台座をくっつけて、機関銃をセットして、攻撃型にするとか。

司：ヒャー！そりゃスゴイや！

カ：バギーを偵察車にする場合、ドライバーの身を守るために装甲は絶対付けたいよね。

司：へぇー、模型かプラモデルを作ってる感覚に近いですね。

文明の象徴か、ただの商売熱心か。 自動販売機は未来にもあった。

カ：お店でおもしろいのは、自動販売機が町に建いてあることですね。

司：えーっ!？コーラでも売ってるの。そんなわけないよね。

キ：へへへ……、販売機にも何種類かあって、一番ありがたいのが砲弾販売機だろうね。いつでも手軽に買えます。

ミ：装甲タイルなんかも売ってる。

カ：ケガをしたときの薬だってあるから、コンビニ感覚でご利用くださいってわけ。

司：へぇー、現代の生活感覚を残してますね。

地獄でホトケに出会う！？ 戦車のレンタルショップも登場。

キ：変わってるお店がもうひとつ、戦車のレンタルショップがある。

カ：戦車が大破して乗り物がなくなったとき、貸してくれます。

司：いやー、親切な人もいるじゃないですか。未来も捨てたもんじゃないですね。

ミ：そんなわけでもないよ。商売だから。

司：というと、１日いくらぐらいですか？

カ：そういう計算じゃなくて、上がりの大部分をしっかり取られちゃうんだ。

司：えーつ、キビシー！（男女驚愕！）

ミ：この時代は、戦車を開発する技術力も工場も残ってないから、ポンコツになっても、戦車を持ってるヤッと持たないヤツの差は大きい！

キ：戦車さえ手に入れば、こりゃもう天国。走りたいだけ走って、撃ちまくって、素手ではかなわないモンスターでもバタバタやっつけちゃうから。もう快感のカタマリ！

ミ：レンタル料が高くても、しかたないよね。戦車ってそれぐらい役に立つ乗り物だから。

カ：でもひとたびアシ（車）がなくなると、もう苦しさの連続！

キ：あんまりかわいそうだから、保険制度を作ろうかって話したね。（笑）

カ：でも、掛け金が高くなりすぎるっていうからやめちゃった。（笑）

ミ：モンスターハンターは、何の保証にも頼らないフリーが一番だぜっ！（キッパリ）

カ：フリーほど自由な人生はないからね。だってフリー（自由）なんだもの、アハハ……。（明るいカノレロス）

キ：そうだね。ボクら3人みたいなフリーの人生を味わってほしいね……（ヒューと冷たい風）

司：ヒェー、実感こもってるう。（なぜか桝田氏だけはサラリーマンであった）

未来にはいかがわしい仕事で 生きている変人がいっぱい。

司：酒場ではケンカしたり、人と出会ったりと、忙しい場所のようですね。

ミ：ケンカするだけじゃなく情報交換の場でもあるからね。

カ：賞金付きのモンスターの手配書が、さりげなく壁にあったりするからよーく見ておこうね。

キ：これは、ショップというよりサービスだけど、戦いで疲れたカラダを揉みほぐしてくれるマッサージ師もいるね。

カ：金さえ払えば、死人だって揉んじゃう。

キ：アヤー、冷たい手ね、この人死んでるよって。（大爆笑）

カ：もっとすごい変人もいる。その名も「ドクターミンチ」！

ミ：主人公の生まれた町に住んでるんだ。

カ：でもって、死者を蘇らせるのが得意。

ミ：ところが最近、研究所の裏庭に墓が沢山できてるらしい。（笑）

キ：だから、うまく生き返ったヤツには、「おまえ優秀だから、次に死んだときも、また来てくれ」って頼むんだよね。（笑）

司：ハンターもいいけど、住民やるのも楽しそうですね。というわけで、未来の町はしたたかに繁栄してること力ゞわかりました。（つづく）

次回の「MM通信」は「独占手記！なぜ私は、モンスターハンターとして生きるのか!？」を放送予定。お楽しみに。

データイーストではこのコーナーに対する感想意見を求めています。下記の住所までお送りください。

〒103 東京都中央区日本橋室町1-5-3

(株)I&S□2CR□桝田省治　宛

METALMAX TSUSHIN,, 宮岡寛,, 木村初,, 富沢昭仁,, 桝田省治

From:
https://hiyouliao.com/ - **STEEL RALLY**

Permanent link:
https://hiyouliao.com/mms/archives/mm_tsushin_07

Last update: **2024/06/07 14:10**